



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社大阪ソーダ 上場取引所 東
コード番号 4046 URL <https://www.osaka-soda.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 寺田 健志
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 今村 徹 TEL 06-6110-1560
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	24,114	4.0	3,309	17.9	4,065	16.0	2,785	15.9
2024年3月期第1四半期	23,193	△9.9	2,807	△45.5	3,504	△40.8	2,404	△42.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 3,799百万円 (△16.4%) 2024年3月期第1四半期 4,544百万円 (0.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	109.78	—
2024年3月期第1四半期	94.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	152,605	112,422	73.7
2024年3月期	150,541	109,765	72.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 112,416百万円 2024年3月期 109,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	45.00	—	10.00	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 当社は2024年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の株式分割を行います。2025年3月期（予想）の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しております。株式分割を考慮しない場合の2025年3月期（予想）の期末配当金は50円、年間配当金は95円となります。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	50,000	7.2	7,100	44.4	7,600	26.2	5,200	28.6	204.94
通期	103,000	8.9	16,000	52.5	16,800	39.9	11,500	50.3	90.65

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は2024年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の株式分割を行います。2025年3月期の連結業績予想における通期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は453.24円となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	26,732,017株	2024年3月期	26,732,017株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,359,172株	2024年3月期	1,359,017株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	25,372,938株	2024年3月期1Q	25,440,473株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況.....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の増加や雇用情勢の改善など持ち直しの動きが続きました。一方で、原燃料価格高騰や物価上昇に加え、ウクライナ情勢の長期化、緊迫化する中東情勢に伴う影響や中国経済の先行き懸念など海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスク等の影響もあり、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、新中期経営計画「Shape the Future-2025」（2023年～2025年度）で掲げた「既存事業の継続的基盤強化」、「新製品創出力の強化」、「サステナビリティ経営の推進」の3つの基本方針に沿った具体的な施策を着実に実行してまいりました。

「既存事業の継続的基盤強化」においては、安定したキャッシュの創出と成長分野への積極的な投資により事業基盤の拡充を図ってまいりました。基礎化学品事業では、2023年4月に発生したアリルクロライド製造設備の主要機器の不具合は、2024年6月末に復旧工事を実施し、供給問題について解消いたしました。機能化学品事業では、自動車生産台数の回復に加え、既存顧客への拡販活動や新規開拓の推進により合成ゴムや合成樹脂の販売を伸ばすことができました。ヘルスケア事業では、糖尿病治療薬や肥満治療薬向けの医薬品精製材料の需要が引き続き拡大しており、順調に販売数量を伸ばしています。想定以上に肥満治療薬市場が急速に拡大しており、需要予測の再検証を進めてまいります。

「新製品創出力の強化」では、全固体電池用超高イオン伝導性ポリマーに続き、革新的ナノ均一構造正極による超高速充放電亜鉛二次電池の開発がNEDOの研究プログラムに採択されました。安全性の高さに加え、電池の軽量化が望めることから、電気自動車やドローン等の軽量・ハイパワー二次電池等への活用が期待されており、次のグローバルニッチトップ製品へと着実に育ててまいります。

「サステナビリティ経営の推進」では、人権、労働環境および自然環境をこれまで以上に重視した持続可能なサプライチェーンとするため、購買基本方針ならびにCSR調達ガイドラインを制定し、本年4月に開示いたしました。また、当社経営ビジョンに掲げる「社員とともに成長する企業」を目指し、人的資本への投資の一環として業務改革活動の浸透による人材育成を図るとともに、従業員エンゲージメントの向上にも取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、241億1千4百万円と前年同期比4.0%の増加となりました。利益面におきましても、営業利益は33億9百万円と前年同期比17.9%の増加、経常利益は40億6千5百万円と前年同期比16.0%の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億8千5百万円と前年同期比15.9%の増加となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

<基礎化学品>

クロール・アルカリは、水島工場の製造設備不具合の影響が低下したため販売数量は増加しましたが、原燃料価格の下落に伴う販売単価調整の影響もあり、売上高は減少しました。

エピクロルヒドリンは、海外市況軟化による影響を受けましたが、製造設備不具合の影響が低下し販売数量が増加したため、売上高は増加しました。

以上の結果、基礎化学品の売上高は90億6千2百万円と前年同期比0.2%の増加となりました。

<機能化学品>

合成ゴム関連では、自動車生産台数の回復に伴いエピクロルヒドリンゴムの販売数量が増加したことに加え、国内外でアクリルゴムの新規採用が進んだため、売上高は増加しました。

ダップ樹脂は、欧州で需要は低迷しましたが、中国を中心に新規採用が進んだため、売上高は増加しました。

アリエーテル類では、中国で塗料用途を中心としたシランカップリング剤向けの需要が堅調に推移したため、売上高は増加しました。

以上の結果、機能化学品の売上高は77億9千9百万円と前年同期比20.3%の増加となりました。

<ヘルスケア>

医薬品精製材料は、欧米並びにアジア向けの糖尿病治療薬用途等の需要が順調に拡大し、売上高は増加しました。医薬品原薬・中間体は、糖尿病の合併症治療薬中間体および不眠症治療薬中間体の販売が拡大したため、売上高は増加しました。

以上の結果、ヘルスケアの売上高は24億7千2百万円と前年同期比11.9%の増加となりました。

<商社部門ほか>

ガラス繊維等を中心に電子材料および自動車向け商材は需要が回復しましたが、生活関連商品は物価高騰により国内消費が落ち込んだため、売上高は減少しました。

以上の結果、商社部門ほかの売上高は47億7千9百万円と前年同期比12.4%の減少となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、0.5%増加し929億4千8百万円となりました。これは、主として電子記録債権が22億8千万円増加し、有価証券が20億4百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、2.7%増加し596億5千6百万円となりました。これは、主として投資有価証券が13億2千5百万円増加したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、1.4%増加し1,526億5百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、3.4%減少し317億4千7百万円となりました。これは、主として賞与引当金が4億6千1百万円、その他流動負債が7億8千万円それぞれ減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、6.6%増加し84億3千5百万円となりました。これは、主として繰延税金負債が5億8千万円増加したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて、1.5%減少し401億8千2百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて、2.4%増加し1,124億2千2百万円となりました。これは主として、利益剰余金が16億4千3百万円、その他有価証券評価差額金が9億2百万円それぞれ増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の第2四半期(累計)および通期の業績予想につきましては、2024年5月10日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,433	14,482
受取手形、売掛金及び契約資産	30,068	29,476
電子記録債権	4,710	6,990
有価証券	23,998	21,994
商品及び製品	10,065	10,508
仕掛品	2,354	2,377
原材料及び貯蔵品	5,502	5,524
その他	1,314	1,598
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	92,444	92,948
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,272	8,128
機械装置及び運搬具（純額）	12,570	12,205
土地	2,301	2,301
リース資産（純額）	614	596
建設仮勘定	3,807	4,404
その他（純額）	365	348
有形固定資産合計	27,932	27,983
無形固定資産		
のれん	162	151
ソフトウェア	105	95
その他	504	503
無形固定資産合計	772	750
投資その他の資産		
投資有価証券	28,224	29,549
長期貸付金	12	11
繰延税金資産	441	391
その他	735	991
貸倒引当金	△21	△22
投資その他の資産合計	29,391	30,922
固定資産合計	58,096	59,656
資産合計	150,541	152,605

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,108	15,265
短期借入金	7,172	7,172
未払法人税等	1,194	1,159
賞与引当金	927	465
1年内返済予定の長期借入金	65	72
その他	8,392	7,612
流動負債合計	32,860	31,747
固定負債		
長期借入金	393	400
リース債務	787	760
繰延税金負債	3,999	4,579
退職給付に係る負債	1,999	1,987
資産除去債務	556	556
その他	179	150
固定負債合計	7,915	8,435
負債合計	40,776	40,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,871	15,871
資本剰余金	17,014	17,014
利益剰余金	68,102	69,746
自己株式	△4,611	△4,612
株主資本合計	96,377	98,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,156	13,058
繰延ヘッジ損益	71	109
為替換算調整勘定	871	948
退職給付に係る調整累計額	283	280
その他の包括利益累計額合計	13,383	14,396
非支配株主持分	4	6
純資産合計	109,765	112,422
負債純資産合計	150,541	152,605

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	23,193	24,114
売上原価	16,955	17,107
売上総利益	6,237	7,007
販売費及び一般管理費	3,430	3,697
営業利益	2,807	3,309
営業外収益		
受取利息	3	11
受取配当金	346	407
持分法による投資利益	1	4
為替差益	297	374
その他	99	77
営業外収益合計	747	875
営業外費用		
支払利息	28	28
その他	22	91
営業外費用合計	50	119
経常利益	3,504	4,065
特別損失		
固定資産除却損	40	36
特別損失合計	40	36
税金等調整前四半期純利益	3,463	4,028
法人税、住民税及び事業税	695	1,029
法人税等調整額	365	214
法人税等合計	1,060	1,244
四半期純利益	2,402	2,783
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,404	2,785

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	2,402	2,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,814	902
繰延ヘッジ損益	281	37
為替換算調整勘定	36	66
退職給付に係る調整額	7	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	2	12
その他の包括利益合計	2,142	1,015
四半期包括利益	4,544	3,799
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,545	3,798
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	886百万円	932百万円
のれんの償却額	14百万円	11百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	ヘルスケア	商社部門ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高							
日本	8,759	1,933	1,069	4,675	16,438	—	16,438
中国	—	1,929	204	447	2,581	—	2,581
アジア	185	1,256	194	260	1,896	—	1,896
欧州	100	639	521	66	1,328	—	1,328
その他地域	—	724	219	4	948	—	948
顧客との契約 から生じる収益	9,045	6,483	2,208	5,454	23,193	—	23,193
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,045	6,483	2,208	5,454	23,193	—	23,193
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	275	1	704	981	△981	—
計	9,045	6,759	2,209	6,159	24,174	△981	23,193
セグメント利益	171	1,128	1,352	443	3,095	△288	2,807

(注) 1 セグメント利益の調整額△288百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	ヘルスケア	商社部門ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高							
日本	8,488	2,208	777	3,988	15,462	—	15,462
中国	—	2,082	261	613	2,958	—	2,958
アジア	400	1,495	282	73	2,252	—	2,252
欧州	87	1,138	958	102	2,287	—	2,287
その他地域	85	873	192	1	1,154	—	1,154
顧客との契約 から生じる収益	9,062	7,799	2,472	4,779	24,114	—	24,114
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,062	7,799	2,472	4,779	24,114	—	24,114
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	189	—	922	1,112	△1,112	—
計	9,062	7,988	2,472	5,702	25,226	△1,112	24,114
セグメント利益	489	1,349	1,499	299	3,638	△328	3,309

(注) 1 セグメント利益の調整額△328百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。